

児童青年期精神医学

1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	1人
合計	2人

2 教員の異動状況

杉山登志郎 (特任教授) (H22.10.1～現職)

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1) 原著論文数(うち邦文のもの)	9編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	25.92
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数(うち邦文のもの)	14編 (14編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5) 症例報告数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 杉山登志郎, 川村昌代, 橋詰由加里, 大隅香苗: 強度行動障害の再検討(その2) 厚生科学研究における強度行動障害研究の再検討. 小児の精神と神経, 50(3), 247-257, 2010.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Suzuki K, Sugihara G, Ouchi Y, Nakamura K, Tsujii M, Futatsubashi M, Iwata Y, Tsuchiya KJ, Matsumoto K, Takebayashi K, Wakuda T, Yoshihara Y, Suda S, Kikuchi M, Takei N, Sugiyama T, Irie T, Mori N. : Reduced acetylcholinesterase activity in the fusiform gyrus in adults with autism spectrum disorders. Arch Gen Psychiatry, 68(3), 306-313, 2011.
2. Nakamura K, Iwata Y, Anitha A, Miyachi T, Toyota T, Yamada S, Tsujii M, Tsuchiya KJ, Iwayama Y, Yamada K, Hattori E, Matsuzaki H, Matsumoto K, Suzuki K, Suda S, Takebayashi K, Takei N, Ichikawa H, Sugiyama T, Yoshikawa T, Mori N.: Replication study of Japanese cohorts supports the role of STX1A in autism susceptibility. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, 35(2),454-458, 2011.
3. Thanseem I, Nakamura K, Miyachi T, Toyota T, Yamada S, Tsujii M, Tsuchiya KJ, Anitha A, Iwayama Y, Yamada K, Hattori E, Matsuzaki H, Matsumoto K, Iwata Y, Suzuki K, Suda S, Kawai M, Sugihara G, Takebayashi K, Takei N, Ichikawa H, Sugiyama T, Yoshikawa T, Mori N.: Fujita-Shimizu A, Suzuki K, Nakamura K, Miyachi T, Matsuzaki H, Kajizuka M, Shinmura C, Iwata Y, Suda S, Tsuchiya KJ, Matsumoto K, Sugihara G, Iwata K, Yamamoto S, Tsujii M, Sugiyama T, Takei N, Mori N. Further evidence for the role of MET in autism susceptibility. Neurosci Res, 68(2), 137-141, 2010.
4. Fujita-Shimizu A, Suzuki K, Nakamura K, Miyachi T, Matsuzaki H, Kajizuka M, Shinmura C, Iwata Y, Suda S, Tsuchiya KJ, Matsumoto K, Sugihara G, Iwata K, Yamamoto S, Tsujii M, Sugiyama T, Takei N, Mori N. Decreased serum levels of adiponectin in subjects with autism. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, 16;34(3), 455-458, 2010.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Marui T, Funatogawa I, Koishi S, Yamamoto K, Matsumoto H, Hashimoto O, Jinde S, Nishida H, Sugiyama T, Kasai K, Watanabe K, Kano Y, Kato N. : The NADH-ubiquinone oxidoreductase 1 alpha subcomplex 5 (NDUFA5) gene variants are associated with autism. Acta Psychiatr Scand, 123(2), 118-124, 2011.
2. Munesue T, Yokoyama S, Nakamura K, Anitha A, Yamada K, Hayashi K, Asaka T, Liu HX, Jin D, Koizumi K, Islam MS, Huang JJ, Ma WJ, Kim UH, Kim SJ, Park K, Kim D, Kikuchi M, Ono Y, Nakatani H, Suda S, Miyachi T, Hirai H, Salmina A, Pichugina YA, Soumarokov AA, Takei N, Mori N, Tsujii M, Sugiyama T, Yagi K, Yamagishi M, Sasaki T, Yamasue H, Kato N, Hashimoto R, Taniike M, Hayashi Y, Hamada J, Suzuki S, Ooi A, Noda M, Kamiyama Y, Kido MA, Lopatina O, Hashii M, Amina S, Malavasi F, Huang EJ, Zhang J, Shimizu N, Yoshikawa T, Matsushima A, Minabe Y, Higashida H.: Two genetic variants of CD38 in subjects with autism spectrum disorder and controls.

Neurosci Res, 67(2), 181-191, 2010.

3. Liu X, Kawamura Y, Shimada T, Otowa T, Koishi S, Sugiyama T, Nishida H, Hashimoto O, Nakagami R, Tochigi M, Umekage T, Kano Y, Miyagawa T, Kato N, Tokunaga K, Sasaki T.: Association of the oxytocin receptor (OXTR) gene polymorphisms with autism spectrum disorder (ASD) in the Japanese population. J Hum Genet, 55(3), 137-141, 2010.
4. 野村和代, 鈴木将文, 井上雅彦, 杉山登志郎: 強度行動障害の再検討 (その1) 強度行動障害特別処遇事業における対象事例の支援・経過についての分析. 小児の精神と神経, 50(3), 291-296, 2010.

インパクトファクターの小計 [5.877]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 杉山登志郎: 子ども虐待 - 子どもの命とところを守る. 心と社会, 42(1), 12-15, 2011.
2. 杉山登志郎: 発達障害とアタッチメント障害. トラウマティック・ストレス, 9(1), 25-31, 2011.
3. 杉山登志郎: タイムスリップ現象再考. 精神科治療学, 25(12), 1639-1645, 2010.
4. 杉山登志郎: 性的虐待へのケア. 日本小児科学会雑誌, 114(10), 1526-1533, 2010.
5. 杉山登志郎: 小児慢性患者におけるところの臨床のニード. そだちの科学, 15, 62-65, 2010.
6. 杉山登志郎: 広汎性発達障害の現在. 子どものところと脳の発達, 1(1), 9-18, 2010.
7. 杉山登志郎: 子ども虐待への医療機関を核とした子どもと親へのケア. 月刊福祉, 93(11), 32-35, 2010.
8. 杉山登志郎: 高機能広汎性発達障害. 日本医事新報, 4500, 70-75, 2010.
9. 杉山登志郎, 山村淳一: ADHD と子ども虐待. 精神科治療学, 25(6), 803-808, 2010.
10. 杉山登志郎: ADHD に対するアトモキセチンの臨床. 脳, 21, 13(2), 186-191, 2010.
11. 杉山登志郎: いじめ・不登校と高機能広汎性発達障害. ところの科学, 151, 64-69, 2010.

インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 川村昌代, 杉山登志郎: 発達精神病理学的視点からみた広汎性発達障害. 臨床心理学 増刊 2, 25-30, 2010.
2. 松本慶太, 杉山登志郎: 被虐待児の治療. 精神科, 17(1), 36-41, 2010.
3. 鈴木善統, 杉山登志郎: 自閉症・アスペルガー障害の早期診断と鑑別診断. 小児内科, 42(3), 431-434, 2010.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成22年度
--	--------

特許取得数(出願中含む)	0件
--------------	----

5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1)文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2)厚生科学研究費	3件 (240万円)
(3)他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4)財団助成金	0件 (0万円)
(5)受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6)奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(2) 厚生科学研究費

1. 杉山登志郎(分担者) 障害者対策総合研究事業「発達障害者に対する長期的な追跡調査を踏まえ、幼児期から成人期に至る診断等の指針を開発する研究」「発達障害の早期介入に関する前方向視的研究」「高機能広汎性発達障害に成人におけるミラーニューロン機能に関する画像研究」 110 万円(継続) 代表者 福島大学大学院人間発達文化研究科 教授 内山登紀夫
2. 杉山登志郎(分担者) 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に関する診療体制確保、専門的人材育成に関する研究」「虐待ケースの診療の標準化に関する研究」 80 万円(継続) 代表者 独立行政法人国立成育医療センターこころの診療部長 奥山真紀子
3. 杉山登志郎(分担者) 障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野)「成人期注意欠陥・多動性障害の疫学、診断、治療法に関する研究」「子ども虐待と成人期の ADHD」「成人期の ADHD」 50 万円(継続) 代表者 浜松医科大学医学部精神神経科 准教授 中村和彦

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1)特別講演・招待講演回数	0件	2件
(2)シンポジウム発表数	0件	2件
(3)学会座長回数	0件	1件
(4)学会開催回数	0件	0件
(5)学会役員等回数	0件	6件
(6)一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

杉山登志郎 第51回日本児童青年神経医学会総会 2010年10月、群馬

杉山登志郎 第4回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム 2011年2月、東京

3) シンポジウム発表

杉山登志郎 第16回日本子ども虐待防止学会 2010年11月、熊本

杉山登志郎 H22 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 2011 年 2 月、岐阜

4) 座長をした学会名

杉山登志郎 H22 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 2011 年 2 月、岐阜

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

杉山登志郎 日本小児精神神経医学会常務理事

杉山登志郎 日本発達障害学会評議員

杉山登志郎 日本子どもの虐待防止学会監事

杉山登志郎 日本トラウマティック・ストレス学会理事

杉山登志郎 日本乳幼児医学・心理学学会評議員

杉山登志郎 日本心身医学会代議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1)国際共同研究	0件
(2)国内共同研究	0件
(3)学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	0件

15 新聞、雑誌等による報道

1. 杉山登志郎 コラム「窓辺」静岡新聞 2011 年 1 月～3 月毎週木曜連載 (全 13 回)